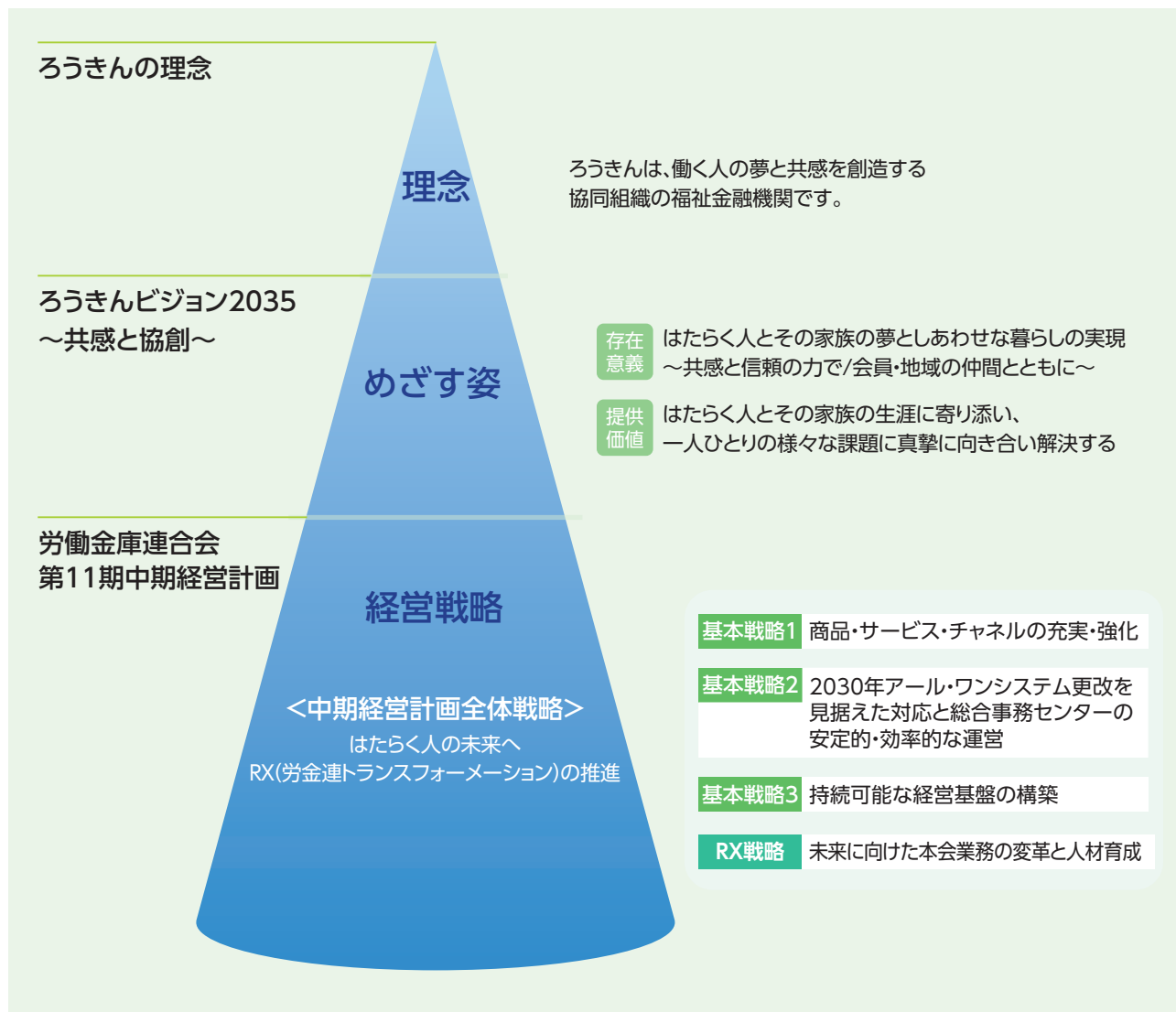


第11期中期経営計画

労金連は、2024年6月の通常総会において、「労働金庫連合会第11期中期経営計画」（以下、「第11期中期経営計画」といいます。）を策定しました。これは、ろうきんの理念および「ろうきんビジョン2035～共感と協創～」に基づき、2024年度から2026年度までの3カ年における労金連の経営の方向性、課題などを表したものです。



第11期中期経営計画の開始年度である2024年度からの3年間は、「ろうきんビジョン2035～共感と協創～」の実現に向けたスタートの期間となります。労金連は、不透明かつ不安定な社会経済環境の中にあって、環境変化に柔軟かつ適切に対応し、はたらく人とその家族の夢とあわせな暮らしの実現に貢献していくことに主眼を置き、第11期中期経営計画を策定しました。

第11期中期経営計画では、社会経済環境の変化に適切に対応していくため、以下を優先課題として取り組みます。

- 自ら意識と業務の変革に挑戦すること
- 超高齢社会やデジタル技術の進展に伴う顧客ニーズの変化や顧客利便向上の一層の追求
- 2030年オール・ワンシステム更改に向けた対応
- 金融環境変化に対応した持続的な安定的な収益確保と成果還元

はたらく人の安心・安全な暮らしの未来に向けて貢献するとともに、〈ろうきん〉業態の持続可能な経営基盤の確立に向けて、系統中央金融機関としての役割を最大限発揮していきます。

2026年度事業計画

第11期中期経営計画では、全体戦略として「はたらく人の未来へ RX(労金連トランスフォーメーション)の推進」を掲げ、3つの基本戦略とRX戦略を策定しました。

これらの戦略に基づき、2026年度事業計画で取組む主な課題は次のとおりです。

基本戦略1 商品・サービス・チャネルの充実・強化

人生100年時代に対応し、はたらく人やシニア世代の資産形成支援に資する取組を行うとともに、商品・サービス・チャネルの充実・強化によるお客さまの利便性向上を図ります。

- **はたらく人やシニア世代の生涯生活設計・資産形成支援**
資産形成に資する確定拠出年金(DC)やNISA、財形貯蓄等の多様な商品・制度を組み合わせた複合的な取引を推進するとともに、相続等の多様なニーズに応えます。また、「選ばれるろうきん」への一層の認知度向上に向け、広告宣伝活動の強化を図ります。
- **非対面デジタルサービスの拡充**
デジタル技術の進展を踏まえ、非対面による取引や、窓口時間外での取引のニーズに対応するため、ろうきんアプリのフルバンキング化の適用をはじめ、利便性・安全性を確保した取引チャネルの強化を図ります。
- **対面相談サービス等の環境整備**
デジタルサービスに不慣れなお客さまへの丁寧な対応等のため、対面取引の効率化に向けた環境整備を行います。

基本戦略2 2030年アール・ワンシステム更改を見据えた対応と総合事務センターの安定的・効率的な運営

2030年のアール・ワンシステム更改を見据え、システムの安定運用を行いつつ、総合事務センターの効率的な運営を行います。また、業態の事務集中部門(沖縄分室を含む)として、新たな金庫事務支援策の検討や業態集中業務の運営効率化に取組めます。

- **2030年アール・ワンシステム更改に向けた取組み**
基本計画に沿った第Ⅲ期(2030年)アール・ワンシステム更改に向けた品質管理や進捗管理等、適切なベンダーコントロールの下で開発を進めます。また、基本構想に定める移行方針に基づき、金庫独自パッチシステムの移行資産を確定します。
- **総合事務センターの安定的・効率的な運営**
大規模な自然災害発生に備えた総合事務センター被災時における業務継続方法の整理に継続して取組めます。また、複雑化・巧妙化するサイバーセキュリティ対策や「マネー・ローンダリング、テロ資金供与および拡散金融に係るリスク対策」について適切な対応を行います。
- **事務集中部門の運営体制の見直し・業務効率化と対象業務の拡大**
〈ろうきん〉業態の事務集中業務の効率化のため、デジタル技術を活用したコンタクトセンター業務の高度化や、事務集中対象業務の拡大などに取組めます。

基本戦略3 持続可能な経営基盤の構築

経済・金融・自然環境等の様々な変化に対応し、持続可能な経営基盤を構築するため、内部管理態勢の一層の強化に取組めます。

- **収益力の向上およびリスク管理態勢と財務基盤の強化**
国内金利の上昇など経済金融環境の変化に適切に対応するため、収益・リスク・自己資本のバランスに配慮しつつ、持続的・安定的な収益確保と成果還元につとめます。
- **SDGs行動指針に基づく各種取組み**
持続可能な社会をめざす金融の担い手として、ESG投融資の拡大、社会貢献活動等に取組めます。
- **内部管理態勢の強化**
システム障害やサイバー攻撃、自然災害等の業務中断リスクに備えるため、緊急時・危機時の対応態勢を強化します。また、マルチスキル人材の育成や、業務分散機能の向上に取組み、オールハザード型BCPの継続的整備を行うなど、オペレーショナル・レジリエンスの確保につとめます。

RX戦略 未来に向けた本会業務の変革と人材育成

3つの基本戦略の着実な実践に向け、RX(労金連トランスフォーメーション)を浸透させ、職員一人ひとりが既成概念に捉われず自由な発想を持ち、能動的意識と責任意識をもって業務の変革にチャレンジする職場風土を醸成します。

- **変革意識にあふれる職場風土の醸成と人材の育成**
能動的意識と責任意識をもって変革にチャレンジする職場風土を醸成するとともに、変革意識を持った人材育成に取組めます。
- **ペーパーレスの完全実施等「本会業務の変革」**
ペーパーレスへの取組みや様々なデジタル技術の活用、創意工夫によって、業務プロセスの見直し等労金連業務の変革を一層進めます。
- **新労働金庫会館の建設と働きやすく働きがいのある職場の実現に向けた環境整備**
業態の中央機関としてふさわしい、安全性、機能性、快適性、環境性能等に配慮した新労働金庫会館の建設を進めます。また、働きやすく働きがいのある職場の実現に向けた労働環境・各種制度の整備に取組めます。